

米沢市「毎年発行される生涯学習ガイドブック」

生涯学習ボランティア・マナビスト
自動車文庫・アタゴオル
デジタルライブラリー
(山形県米沢市)

マナビストとは、生涯学習活動を支援する方のことで、米沢市教育委員会および米沢鷹山(ようざん)大学が実施する養成講座を修了、もしくは通信講座で生涯学習に関する資格を取得された方を教育長が認定したものです。平成13～15年度に101人が、24、25年度に15人が認定されました。鷹山大学は、1つのテーマに対して3～5回の講座を中心に行われています。現在、市民

福祉教育委員会
平成26年7月2日～4日

による運営を行うため、NPO法人設立を1年後に目指していますが、運営費の確保が大きな課題だそうです。

自動車文庫の始まりは、昭和30年から公民館に図書を配布する「巡回文庫」で、昭和38年に青年会議所から巡回専用車が寄贈されました。3千500冊の図書を積載し70力所を1カ月に1回巡回しています。今年度1千944万円で新車購入の予定で、障がい者の円滑な利用のため、リフトを取り付けます。自動車文庫が米沢市で継続されている理由は、分館がないからだそうです。

また、デジタルライブラリーは、平成24年から2年間に渡り、図書館振興財団から1千万円の助成金を受け着手さ



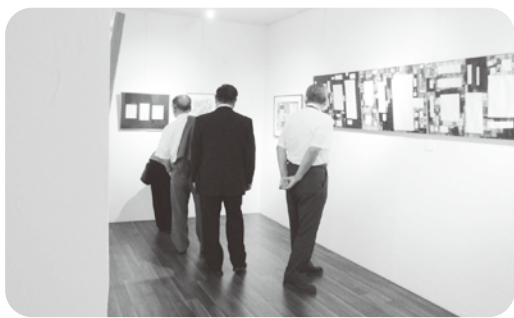
米沢市「米沢市立図書館」

れました。郷土資料の活用を柱に、順次古典籍のデータベース化も進める予定です。

公民館を中心とした学校支援

(岩手県一関市)

一関市は8市町村が合併し、小学校34校、中学校18校、県立付属1校、保育園10園があります。公民館を中心とした学校支援は、平成25年度より一関地域で南小学校を対象に事業を開始しました。室根地域にも広がっています。室根では、中学校にコーディネーター2名を週2回派遣し、公民館、地域サークル活動を通じて支援を行っています。また放課後子ども教室事業も行っています。



一関市「さくらなみき自閉症美術館」にも立ち寄りました

また、宮古病院のデータを開業医が見ることのできるシステムが総務省補助事業として導入されました。

地域ケア会議について

(岩手県宮古市)

宮古市の地域包括支援センターは平成18年に設置されました。個別ケア会議が不定期で開催されていましたが、地域の課題を探ることはしておらず、代わりに地域ケア会議を行うようになりました。高齢化率45%を超える地区をモデルに取り組んでいます。処遇が困難な場合、関係機関が連携し、直接連絡できるようになったため、地域全体を見据えた支援ができるようになりました。地域ケア会議が始まってまだ2年しか経過していないので課題の方が多いそうです。



宮古市「地域ケア会議について」